

事業別概況

パーソナル・アンド・ホーム事業

- 高級機から低級機までの圧倒的なグローバルNo.1の維持と新たな「作る楽しみ」への挑戦

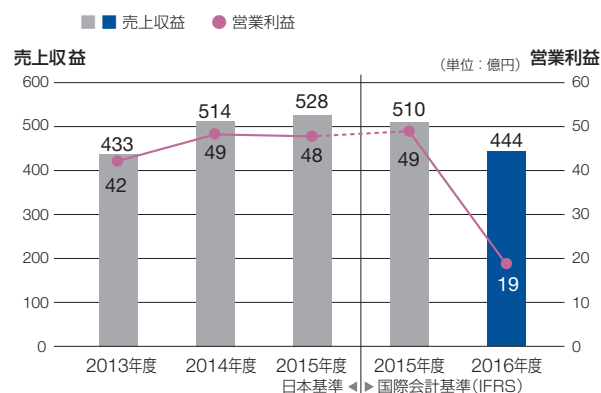
常務執行役員
パーソナル・アンド・ホーム事業 統括

久野 光康



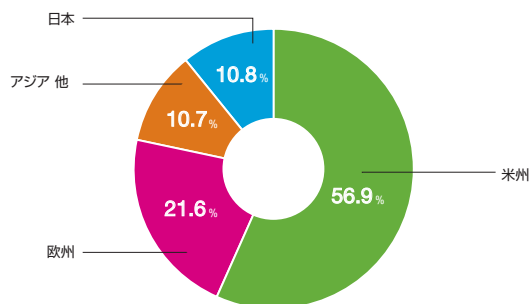
2016年度の営業概況

売上収益／営業利益の推移



※ IFRSでの科目名を表示しています。日本基準に基づく科目名は、以下の科目名に読み替えます。※売上高(日本基準) / 売上収益(IFRS)

地域別売上収益構成比(2016年度)



主要製品の紹介



刺しゅうマシン

売上収益: 444億9百万円(前期比△12.9%)

円高による為替のマイナス影響に加え、主に米州での需要が伸び悩んだこともあり、全体では減収となりました。

営業利益: 18億8千万円(前期比△61.4%)

円高による為替のマイナス影響に加え、研究開発費などの先行投資の増加もあり、大幅な減益となりました。

事業の概要

〈ブラザーの強み〉

ブラザーは、家庭用ミシン事業において高性能かつ高付加価値の製品を提供できる業界随一の開発力を有しています。特に電子技術の強みを生かし、最先端の機能を使いやすい形でお客様に提供することで市場をリードしてきました。製造面では台湾、中国、ベトナムの工場で、高級機から低級機までのあらゆる製品を生産しています。販売面においては、北米で抜群の知名度を誇っています。有力な大手小売店との強いパイプに加え、高級機を販売する大手ミシンディーラーなどの有力なビジネスパートナーと緊密な関係を構築しています。さらに、グローバルに展開する販売拠点が、優れた製品に加えきめ細やかなサービスや教育を提供することにより、強いブランド力を維持・強化しています。

〈市場動向と事業戦略〉

- 家庭用ミシン事業の現在の地位を堅持しつつ収益力を強化
- 高級機の地位堅持と中級機市場でのシェアの拡大
- クラフト事業での攻めの成長

家庭用ミシンにおいては、北米の低価格量販モデルの需要に停滞傾向がみられますが、グローバルでの需要は堅調に推移しています。

そのような中、ブラザーは付加価値の高い刺しゅうミシンと中級機による顧客満足度の向上を図ることにより収益拡大を目指します。

カッティングマシンでは北米中心に市場が拡大しており、ブラザーは他メーカーにないスキャン機能の価値を訴求し、新規販売チャネルの開拓を推進することで事業伸張を実現します。



一般用ミシン



職業用刺しゅうミシン



カッティングマシン

ブラザーの価値創造 夢をかなえる刺しゅうミシン

イノヴィスXVは、ミシンによるキルトが盛んなアメリカ市場を中心に、長年キルトを愛好されている方々に向けて、2014年に導入した刺しゅう機能付きのミシンです。

針元から約29cmあるふところの広いソーイングスペースにより、最大24x36cmサイズの刺しゅうが一度に縫製可能で、ベッドカバーやタペストリーなど大型の作品をゆったりと動かすことができます。また、10.1インチの大型高精細液晶画面により、豊富な実用縫い・飾り模様や刺しゅう模様を簡単に選択できるとともに、刺しゅう枠の内側を内蔵カメラでスキャンする業界初*の機能によって、刺しゅう完成イメージを表示することができ、思い通りの仕上

がりになります。さらに内蔵カメラでイラストをスキャンし刺しゅうデータにするイラストスキャン機能も搭載しています。2016年には、アメリカの雑誌「Consumers Digest」の「Best Buy」商品に選定されました。お客様からは、アメリカ向けのこのモデルのニックネームである「The Dream Machine」と関連付けて「まさに私の夢をかなえるミシン」との評価をいただいています。

* 2017年3月1日現在、ブラザー調べ

